



皆様のご意見をお寄せ下さい 町田市住宅 マスタープラン改定(案)

市では「愛着を持って住み続けられる住宅都市」を目指し、市民や専門家、市内の関係団体の皆さんとともに「これから10年の住宅計画」の検討を進めています。

問住宅課 ☎709・0579、FAX709・0586

町田市住宅マスタープラン改定(案)の概要

計画の位置づけと計画期間

急速な高齢者の増加や、市内にある多くの団地の老朽化といった課題に対応しつつ、住宅都市として蓄積してきた既存の都市基盤のさらなる有効活用を図ります。計画期間は2011年～2020年とし、適宜状況の変化に応じて見直しを行います。

取り組みの考え方

- 国・東京都・町田市それぞれの役割に応じて、住宅環境の整備を図ります。
- 中・長期的な取り組みと、当面の課題解決の取り組みについて明確にします。
- 市民・事業者・行政の協働により計画実現を目指します。

町田市の住宅政策展開の基本的な考え方

基本理念

『愛着を持って住み続けられる住まいと住環境の実現』『都市的利便性の高さ』と『ゆとり・うるおい』を最大限生かし、ライフステージに応じた住まいの選択を可能にし、住み続けられる住宅都市を目指します。

基本姿勢

「住宅の量の確保」から「質の向上」へ方針を転換し、『住み続けられること』『ライフステージに応じた

住み替え』を可能にするために、住宅資産を長く維持していくことを基本姿勢とします。

施策の目標

- 「持続可能な住宅市街地のマネジメント」の実現
- 市民と事業者、行政が持続的に取り組む『仕組み』を構築します。
- I 住まいの選択を可能にする良質な住宅の確保【良質な住宅ストック】
- II 少子・高齢社会への対応【福祉施策との連携】
- III 安全・安心な暮らしを支える住まいづくり【防災・防犯性に優れた住まい】
- IV 緑豊かで暮らしやすい住環境の形成【緑豊かで利便性の高い住環境の誘導】

公的住宅の主要な取り組み

- 市営住宅の長寿命化・バリアフリー化
- 公的住宅のセーフティネット機能を推進
- 大規模団地の計画的再編に関する方針を、市民・事業者と共に策定

計画の推進・管理

市民・事業者・NPOとの協働で取り組み、定期的に進捗状況を評価する指標を定め、計画の進行管理を進めます。計画の実現のため、法整備や財政支援などを国・東京都に積極的に働きかけ、事業者に対して提案・要請を行います。

ご意見の提出方法について

一 募集期間一

10月1日(金)～29日(金)

一 資料の閲覧及び配布一

計画(案)の詳細は、町田市ホームページに掲載するほか、以下の窓口で概要の閲覧及び配布を行っています。

- ・住宅課(市役所中町第三庁舎1階)、市民相談室(市役所本庁舎1階)、市政情報やまびこ(市役所中町分庁舎1階)、市民協働推進課(町田市民フォーラム3階)
- ・各市民センター、木曾山崎・玉川学園文化の各センター
- ・各市立図書館、市民文学館

一 提出方法一

①郵送 配布資料に添付されている専用封筒(料金受

取人払郵便)を利用するか、住宅課(〒194-0021、中町1-4-2)へ

- ②ファクシミリ FAX709・0586
- ③電子メール mcity610@city.machida.tokyo.jp
- ④窓口への提出 住宅課(市役所中町第三庁舎1階)ほか左記資料配布窓口へ

一 注意事項一

- ・書式は自由ですが、住所・氏名・連絡先・件名を明記して下さい。
- ・ご意見への個別の回答は行いません。
- ・電話、窓口での口頭によるご意見はお受けできません。
- ・公序良俗に反するもの、特定の団体・個人等に対する誹謗中傷が含まれるものは無効とします。
- ・寄せられたご意見の概要及び市の考え方は、個人情報を除き、11月下旬に公表します。

10月1日開始 インフルエンザ 新臨時接種

問健康課 ☎725・5422 FAX725・5198

昨年大流行した新型インフルエンザは沈静化しつつありますが、引き続き注意が必要です。市では、今年度限り、新型インフルエンザに対する新臨時接種を応急的に実施します。接種希望の方は早めに予防接種を受けましょう。今季のワクチンは、昨年流行した新型インフルエンザと季節性インフルエンザの混合ワクチンです。

※町田市ホームページまたは町田市コールセンター(☎724・5656)へお問い合わせ下さい。
接種費用の助成について
生活保護受給世帯・中国残留邦人等の支援受給者・非課税世帯の方は接種費用が無料です。必ず市内の指定医療機関で接種して下さい。生活保護世帯の方は生活保護受給証明書、非課税世帯の方は家族の中で生計を担っている方の平成22年度非課税証明書等を

医療機関の窓口で提示して下さい。
※市内に住民登録があり、市外の指定介護老人福祉施設、介護老人保健施設、指定介護療養型医療施設に入所している方の接種費用を助成します(2200円を上限として1人1回のみ。生活保護受給者等の方は4400円)。事前の申請が必要ですので健康課へご連絡下さい。

接種回数・費用 ※市内一律です。

年齢	回数	費用	
		1回目	2回目
13歳未満	※1～4週間の間隔で実施	1回目	3600円
		2回目	1回目と同一医療機関で接種 2550円 1回目と別の医療機関で接種 3600円
13歳以上65歳未満	1回		3600円
65歳以上(注)	1回		2200円

(注) 60歳以上65歳未満で心臓・腎臓・呼吸器の機能障がい、ヒト免疫機能障がいにより、日常生活がほとんど不可能な程度の障がい有する方を含みます

★公民館の関連企画★

観音・地藏が 講演&見学会 人々に与えたパワーとは...

公民館で作品の時代背景などを学んだ後、解説付きで作品を鑑賞します。

日・場 10月30日(土) 午前10時30分～

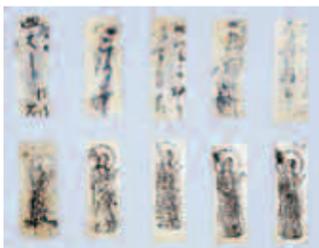
正午＝まちだ中央公民館、午後1時30分～2時30分＝国際版画美術館(解散)

定 30人(申し込み順)

費 国際版画美術館の入館料

申 10月28日までに電話でまちだ中央公民館(☎728・0071)へ。

※10月27日～30日にまちだ中央公民館ミニギャラリーで、関連展示会を開催します。



重要文化財「地藏菩薩立像印仏」
国立歴史民俗博物館所蔵

【各種講演会】
各講演会とも同館講堂で行います。直接会場へおいで下さい。
※手話通訳があります。
①日本古代の観音と地藏
10月17日(日) 午後2時～3時30分
講者 青山学院大学教授・浅井和春氏

②仏像と版画の意外な関係
11月3日(祝) 午後2時～4時
講者 東京大学史料編纂所助教・藤原重雄氏、同館学芸員

③地獄にほとけ
11月6日(土) 午後2時～3時
講者 共立女子大学准教授・山本聡美氏

④ギャラリー・トーク
観覧券が必要です。
10月24日(日)
⑤学芸員のギャラリー・トーク
10月10日(日)、16日(土)、31日(日)、11月14日(日)、21日(日)

⑥観音と
重要文化財「聖観音立像」
(株よみうりランド所蔵)
観音菩薩と地藏菩薩は、現世や地獄の苦しみから人々を救ってくれる存在として厚く信仰されてきました。本展では、その姿をあらわした木版画、それらの版画を内部の空間に納めた仏像、仏画や絵巻物など、重要文化財15点を含む平安・江戸時代の約120点をご紹介します。



国際版画美術館企画展

救いのほとけ 観音と 地藏の美術

会期 10月9日(土)～11月23日(祝)
開館時間 火～金曜日 午前10時～午後5時、土・日曜日、祝日 午前10時～午後5時30分(入館は閉館30分前まで)
※月曜日休館(10月11日は開館、翌12日は閉館)
観覧料 一般1000円、高校生700円、65歳以上500円、中学生以下無料
※展覧会初日と11月3日は無料です。

同時開催(常設展示室)
「地中海からの風」スゴンザック銅版画集 ウェルギリウス「農事詩」によせて
12月23日(祝)まで
問 国際版画美術館 ☎726・2771、FAX726・2840

⑦「美術館で語りあおう」トークフリーデー
1時間程度
日 展覧会初日を除く水・土曜日
直接同館講堂へおいで下さい。
10月11日(祝)、11月7日(日)、各日とも午後2時から

⑧「講演+ギャラリー・トーク」
観覧券をお持ちのうえ、直接同館講堂へおいで下さい。
※手話通訳があります。
10月28日(木) 午後2時～3時
内容 冥界の風景 地藏と十王と八王子の寺に伝わる地獄絵
講者 金剛院仏教文化研究所主任 研究員・小島裕子氏
⑨「学芸員のスライド・レクチャー」
直接同館講堂へおいで下さい。